

本宮地区福祉推進会の取り組み



～まちづくりのコンセプト(基本構想)～

1. だれもが暮らしやすい街
2. 安心安全と活力のある街

機構改革を行い、新しい組織で

令和2年度まで

これまでまちづくりを推進してきた町内会連絡協議会や地域協働協議会など地域内の様々な団体がそれぞれの事業を企画運営してきた。

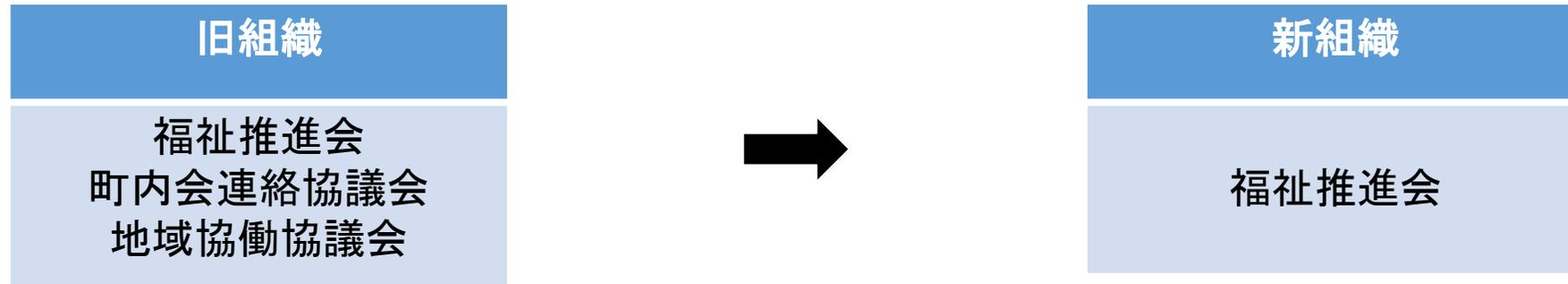
(大きな課題)

・同じような事業をそれぞれの団体に企画実施するので、役員は、それぞれの会議や事業などに出席する回数も多く、大きな負担となっていた。

令和3年度から

数年かけて、まちづくりを進める団体が一つになる機構改革を行い、新しい組織で事業運営することにした。(今年で3年目)

まちづくり組織の機構改革



■福祉推進会の機構団体は、10団体。

(町内会、民児協、老人クラブ、保健推進協、きれいなまち協、地域安全協、地域小学校P、児童センター、老活センター)

■町内会事業は、福祉推進会事業に一本化し、地域協働協議会は、廃止した。

本年度のまちづくり事業

当福祉推進会では、本年度の『まちづくり事業』を次の4つに視点をあてて取り組みをした。

1. ゆいっこセンター祭り
2. 防犯・防災の取り組み
3. 伝統芸能公演会
4. 地域課題(交通安全)の取り組み

1. ゆいっこセンター祭り

当地区活動センターが実施していた文化祭と地域協働協議会が行っていた「ゆいっこ祭り」を一つにして3回目の地域祭りを行った。



(期日)

10月14日(土)～15日(日)

(場所)

本宮地区活動センター

(内容)

- ・ステージ発表(15団体)
- ・作品展(地域の方より出品:約220点)
- ・体験及び出店等(15団体)

2日間の参加者数 1,228人



祭りで配慮したこと

1. ステージ発表、作品展、出店等

- ・センター利用団体だけでなく、地区内の保育園、小中学校にも出演依頼をし、見て聞いて楽しむ祭りにした。

- ・野外での出店は、キッチンカー4店、物販3店、体験遊び3店、特別企画3団体を配置し、屋外でも楽しめる活動を取り入れた。

2. スタッフ、駐車場

- ・スタッフには、町内会協力者、地域住民や保護者など若い世代の方々、センター職員など50名以上が運営に携わった。

- ・センター駐車場を野外ブースに使用したため近隣の寺院や病院等の駐車場を借用した。

2. 防犯、防災の取組み

今年度も地区内の全町内会や小中高等学校などを対象にした防災の取組みを盛岡中央消防署等の協力を得て実施した。(9月20日)

(内容)	1. 無線交信訓練	屯所から15町内会と地区内の小中学校等に無線交信を行い、非常時に使える訓練を行った。
	2. 地震体験	起震車を手配し、全員で地震体験を行った。



3. まちづくり伝統芸能公演会

地域に住む一人暮らしの高齢者を招待し、地域の伝統芸能を広め、地域福祉の向上に資することを目的に実施した。(11月3日)

公演内容



1. 田植え踊り(上鹿妻田植え踊り保存会)
2. 民謡・民舞(華踊乃会)
3. 三味線演奏(成美会)

- 地区民生児童委員協議会と推進会事務局が主体となって運営実施した。
- 盛岡スコーレ高校の生徒による物品販売の協力を得て、交流を深めた。

(参加者235人)



4. 地域課題(交通安全)の取組み

地域課題を「交通安全」として、関係団体との協力と支援を得て、2年間の取組みを行い、『地域安全マップ』を作成することにした。

昨年度



交通安全の講話、ワークショップ等の開催

今年度



危険個所の吟味、マップの作成と配布

(ポイント)

○実態把握のため交番所長の講話、ワークショップでは、地域安全協会や小中学校、東警察署や市役所職員等の出席を得て全体把握と問題点の洗い出しを行った。

○マップ作りを吟味するため、交番や地区内の小中学校から危険個所の詳細について資料を提出していただき、一つのマップに記載した。

○マップ作りのため、危険個所の写真を撮影したり、マップに記載する観点や内容等を確認した。(市役所のくらしの安全課等)



夏の交通安全運動(向中野小学校)



おわりに

令和5年度 まちづくり事業 活動紹介ポスター

本宮地区福祉推進会

代表者： 長岡 利明

連絡先：本宮児童・老人・地区活動センター内

事務所所在地：本宮 4 丁目 3 8 - 2 6

☎ 019-635-4595, 019-636-3546

◆活動紹介◆

●だれもが暮らしやすい街 本宮 ●安心安全と活力ある街 本宮
(事業) ゆいっこセンター祭り・伝統芸能公演・防災研修・地域課題(交通安全)

住民の豊かな暮らしを支える地域コミュニティ活動

◇地域祭りや伝統芸能公演会、ゆいっこ講座など高齢者や地域住民を対象にした公演会や講座



住民が安心して安全な暮らしをサポートする地域活動

◇防犯防災の意識向上を図り、住民の安心安全をサポートする地域活動



成 果

- 1 高齢化社会に対応し、地域住民が豊かな暮らしと住民相互のコミュニティ活動に気軽に参加できるよう事業を計画し、実践することができた。
- 2 組織の改編で事業のスリム化を図ったり、地域の若い世代の人達をスタッフとして運営参加してもらうなど事業の活性化に繋がった。

課 題

コロナの影響による壊れかけたコミュニティ活動の在り方について、再検討、再構築していく必要性を感じる。

今後のまちづくり事業や推進会事業の運営には、幅広い世代の参加を得ることが出来るよう努めていかなければならない。

ご清聴ありがとうございました